



2



3



4



1

2011年春の九州新幹線全線開通に合わせて、3月3日(木)開業した「JR博多シティ」。「アミュープラザ博多」と、九州初上陸「博多阪急」、レストランゾーン、屋上庭園、ホールや会議室などを備え、国内最大級の駅ビルとなった。「ショッピングセンター+百貨店」型駅ビルの強みと、九州新幹線全線開業という時機を最大限に活かし、「商圈拡大」と「広域集客」を図る。

また、地域イベントをはじめ博多駅周辺エリアから福岡のまちづくりに積極的に参画。「博多まちづくり推進協議会」や地域とともに文化・情報を発信し、エリア集客と回遊を促進していく。

# 日本の SSC Shopping Center

## 「JR博多シティ／アミュープラザ博多」

「モノからコト、コトからココロへ」をテーマに、博多の街を九州を大きく変えて新しい時代を切り拓く



6



5



10



8



7



11



9

1 「JR博多シティ」外観。2 地上約60mの高さから、博多駅に出入りする列車の様子が見られる展望スペース。普段あまり見ることのできない角度からの列車の眺望が楽しめる。3~6 屋上庭園「つばめの杜ひろば」。3 九州新幹線「つばめ」と同じ名のミニトレイン「つばめ電車」は大人も子供も乗車可能。約20人を乗せて約100mのレールの上を運行する。4 市民から募集した28,525枚の作品を有田焼の陶板に加工し、大パノラマアートの森を創造した「博多駅アートプロジェクト」の一部、約1万枚のタイルを庭園の壁面で展開。5 筑前一之宮「住吉神社」からご勧請された鉄道神社。その手前には、「せんとくん」の生みの親でもある彫刻家・数内佐斗司作のブロンズ像「縁結び七福童子」が飾られ、九州地図の上を、七人の童子が電車ごっこをしながら遊んでいる姿がユニーク。6 鉄道神社の表参道に仲見世も登場。7 新しい博多駅のシンボルとなる大時計。8 「エスプレッサメンティリー」。長さ約25mの窓面いっぱいに大時計と博多の街並みが広がる。9 九州初出店「東急ハンズ」。10 「ビームス」。11 「ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ」。12 3D対応や福岡市内では初となる全スクリーンでのシアターデジタル上映対応などの最新設備を備えた「T・ジョイ博多」。13 JR博多シティの9・1階の2フロアに広がる「シティダイニングくうてん」。ビル最上階で自然光が降り注ぐ、緑にあふれた「光と緑の大回廊」をメインコンセプトに、2フロアのメインストリートに沿って点在する大小のガーデンが特徴的。14 福岡市営地下鉄博多駅の改札口と直結する地下1階「アミュ地下」。



13



12

## 概要

「JR博多シティ」

所在地 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1  
延床面積 200,000㎡  
階数 地下3階～地上10階

「アミュプラザ博多」

営業面積 約57,000㎡  
(店舗約37,600㎡、屋上庭園・ホール  
等約4,700㎡、共用部約14,700㎡)

店舗数 229店舗  
運営 博多ターミナルビル(株)



14